

気象・環境データ便利帳

角 史生

表1 気象庁が公開する気象関連のオープンデータ

番号	名称	データの内容	URL
1	「最新の気象データ」CSVダウンロードについて	降水量(1, 3, 24, 48, 72時間)降水量, 風速, 気温, 積雪など	http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/docs/csv_dl_readme.html
2	過去の気象データ・ダウンロード	指定地域, 指定期間の気象データ気温, 降水, 日照, 積雪, 風, 雲量	http://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/obsdl/index.php
3	過去の1カ月予報気温ガイダンスデータ・ダウンロード	1カ月予報および異常天候早期警戒情報の基礎資料となる気温確率予測データ	http://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/fcstdl/
4	観測所の位置データ	地域気象観測システム(アメダス)の位置データをCSV形式で掲載	http://www.data.jma.go.jp/developer/index.html#3

気象庁の気象オープンデータ

気象庁では気象の観測や予報を行っています。気象以外にも地震、火山、海洋などに関する観測/予報も行っており、これら各種情報が公開されています。

公開される気象データは、数値データと電文データの2つに分かれます。数値データとは各地点の降水量や温度などの数値化された観測データであり、電文データとは天気予報、注意報、警報などの文書化されたデータです。

● その1：降水量や気温などのリアルタイム観測データ

気象庁によって提供される数値データの中で、国内の気象データは無料で入手可能です。気象データには降水量、風速、気温、湿度、積雪などの情報が含まれています。

最新の気象データを入手するには、気象庁のウェブ・ページ「最新の気象データ | CSVダウンロードについて」(URLは表1-1)にアクセスしてください。入手可能な気象データが一覧表示されていますので、欲しい情報のリンクをクリックすることで、国内の各観測所における降水量、気温、降雪量などがCSV形式

で取得できます。

過去の気象データを入手したい場合は、ウェブ・ページ「過去の気象データ・ダウンロード」(URLは表1-2)にアクセスして、地点、項目を選択した後、「CSVファイルをダウンロード」ボタンをクリックすることで、希望する過去の気象データを入手できます。

● その2：天気概況や地震警報などの文書データ

天気予報などの文書化された気象データは、気象庁防災情報XMLフォーマット形式電文と呼ばれる形式で公開されています(以降、気象庁XML電文と呼ぶ)。気象庁XML電文によって公開される情報として、天気概況、府県天気予報、週刊天気予報、地震情報、津波情報、噴火警報・予報などがあります。

気象庁XML電文で伝えられる災害情報を表2に示します注1。気象庁XML電文を取得する方法として、利用者が気象庁のWebページにアクセスして入手するPULL型と、気象庁XML電文が更新されたことを利用者に通知してくれるPUSH型の2種類が提供されています。ここでは手軽に利用できるPULL型アクセスによる気象庁XML電文の取得方法を説明します。

▶ 2-1：取りに行くデータ

まず、気象庁のウェブ・ページ「気象庁防災情報XMLフォーマット形式電文の公開(PULL型)」にアクセスします(URLは表3-4を参照)。このWebページ上に更新情報をまとめたAtomフィードが公開されており、Atomフィードを参照することで気象庁XML電文の情報が入手できます。

注1：気象庁XML電文の一覧はウェブ・ページ「気象庁ホームページを通じて公開するXML電文一覧」を参照(URLは表3-3)。